

口述対策ガイドンス

東京大学 法学政治学研究科 法曹養成専攻 既修 2 年
小俣拓実

第1、 口述試験の概要（詳しくは法務省の HP もご覧ください）

1、 日程

平成 30 年 10 月 27 日（土）、28 日（日）

受験票に、科目の順番と午前午後の指定がされています。

午前組午後組のなかで何番目かは、当日会場に行くまで分かりません。

2、 場所

法務省浦安総合センター(千葉県浦安市日の出 2-1-16)

※最寄り駅は新浦安駅です。

3、 試験科目

民事実務・刑事実務

民法、民訴法、刑法、刑訴法はもちろんのこと、要件事実や執行保全、法曹倫理なども出題されます。

4、 合格点、合格率

合格点は、119 点です。

持ち点が各科目 60 点あって、そこから加減されます。なので、2 科目とも 59 点以下を取らないようにすることが大事です。

昨年の合格率は、約 94 パーセントです。

ご覧の通り、合格率は非常に高いです。しかし、論文試験を合格した方々が必死に勉強しても、約 10 人に 1 人ぐらい不合格になってしまうので、簡単な試験ではありません。気を引き締めて、口述対策をすることが大事です。

第2、 口述試験までの勉強

1、 論文後から論文合格発表まで

〈勉強面〉

・ とりあえず休みましょう。（ロー入試がある方は頑張ってください！）

・ 普段の勉強として、民法（要件事実を意識しながら）、民訴法、刑法、刑訴法を重点的にやっておけば十分だと思います。

・ 9 月に入った頃から、少しずつ口述対策を始めました。

具体的には、大島上巻（下記①）と「新判例から見る刑法」（下記②）を読んでいます。

・ 余裕のある方、かつ未読の方は、橋爪連載（下記③）も読んでおくことをお勧めします。

〈その他〉

- ・発表前からホテルをとることをお勧めします。
電車を使わないでいける距離のホテルが望ましいです。

2、論文合格後から口述試験前日まで

〈勉強面〉

- ・使った教材は、

【民事実務】

- ① 大島眞一「完全講義 民事裁判実務の基礎 上巻（第2版）」（民事法研究会）
- ② 大島眞一「完全講義 民事裁判実務の基礎 下巻（第2版）」（民事法研究会）
- ③ 土屋文昭ほか「ステップアップ民事事実認定」（有斐閣）
- ④ 和田吉弘「基礎からわかる民事執行法・民事保全法（第2版）」（弘文堂）
- ⑤ 辰巳法律研究所「法律実務基礎科目ハンドブック 1 民事実務基礎（第4版）」

【刑事実務】

- ① 辰巳法律研究所「法律実務基礎科目ハンドブック 2 刑事実務基礎（第4版）」
- ② 山口厚「新判例から見る刑法（第3版）」（有斐閣）
- ③ 橋爪隆「刑法総論の悩みどころ」・「刑法各論の悩みどころ」（法学教室）
- ④ 三井誠・酒巻匡「入門刑事手続法（第7版）」（有斐閣）

- ・まずは、過去問を解くこと。（1周した程度）
ここで、60点のレベル感を掴むのが大事
- ・旧司過去問も解くこと
- ・友人同士で問題を出し合うのも効果的です。
- ・模試も早めに申し込みましょう。複数受けるのがお勧めです。
- ・辰巳は、もう一人の受験生が答えている様子を見ることができます。質問から誘導を出すまでの時間などを把握しました。

3、口述試験当日

- ・待機中はパイプ椅子に座ることになるので、座布団を持っていくのがおすすめです。
- ・ほとんど知らないこともできます。焦らないように
- ・1番目になっても焦らないように、しっかり準備をしておきましょう。
- ・午前組は試験後も待機する時間があるので、翌日の勉強の用意も持って行ったほうがいいです。
- ・民事刑事の順番が違う方と情報交換をされるといいと思います。

4、最後に

予備試験口述試験から司法試験まではあっという間です。じっくり時間をとれるのは、この期間しかないといっても過言ではありません。苦手科目を重点的に勉強したり、将来のことを考えたりしながら、少しずつ口述対策を始めましょう。予備試験最終合格を目指して頑張ってください！！

以上